



進化するエネルギーで実現する サステイナブルな社会

エネルギーは、まだまだ大きな可能性に満ちている。もっと価値あるものになる——。そんな考えのもと、NTTアノードエナジーはエネルギーを改めて見つめ直し、エネルギーの新たな流通の仕組みを創出します。NTTグループの全国を網羅した電話局をはじめとする資産や、これまでに培ってきた最先端のICT、直流給電技術を駆使して、私たちにしかできない全く新しい発想によるスマートエネルギー事業を展開。業種の枠を超えたパートナーシップをもとに、再生エネルギーの効率的な利用や分散エネルギーを活用した災害に強い電力供給などで、さまざまな課題解決を図り、産業の活性化と持続可能な社会の実現を目指します。

Mission



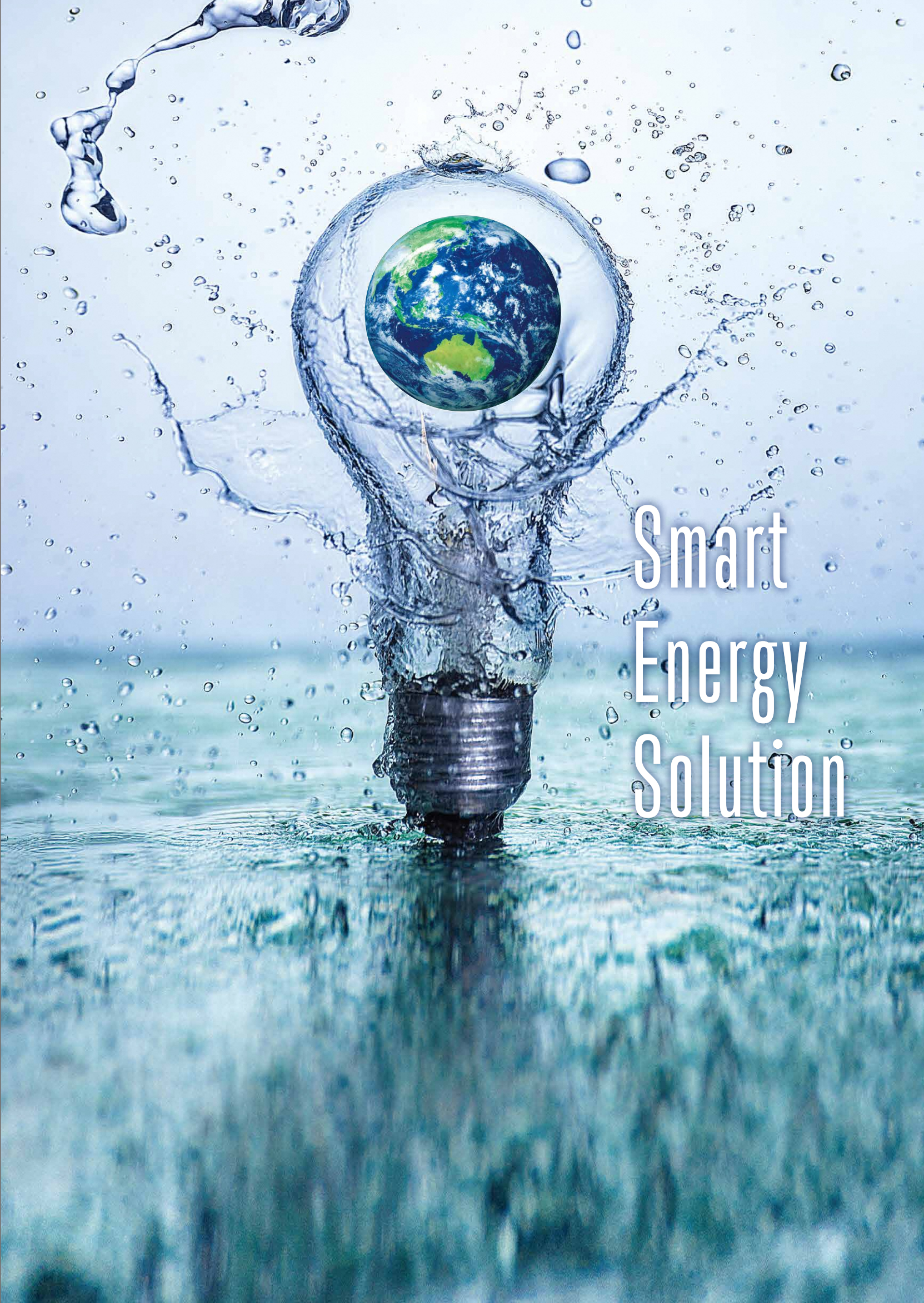
環境貢献



レジリエンス



地域産業活性化



Smart Energy Solution

日本はいま大きな転換期を迎えています。

地球温暖化による自然災害の大規模化、少子化による地方都市の過疎化など、今後解決すべき課題は数多くあります。

私たちNTTアノードエナジーは、徹底したESG経営のもと、再生可能エネルギーの可能性を最大限に引き出し、地球にやさしい経済活動を推進してまいります。

全国に設置されたNTTグループの通信ビルなどの資産やICT技術を活用し、地産地消のエネルギーをお届けすることで、地域の皆様がより暮らしやすい、価値あるサービスを提供いたします。

NTTグループ自らがグリーン電力の利用や電力効率化を進めており、私たちはNTTグループの環境負荷低減の取組みを牽引してまいります。

私たちはエネルギー分野では新しいプレーヤーであり、会社の規模もまだ小さいですが、それを生かしたフラットでスピードを持った組織運営により、ゲームチェンジャーとして挑戦していきます。

NTTアノードエナジーは、多様なニーズに対応するためにさまざまな社外のパートナー様と連携しながら、大きな目標に向かい、より良い社会の実現を目指します。



NTTアノードエナジー株式会社
代表取締役社長

高間 徹

グリーン電力発電事業 Green Power Generation



太陽光、風力、バイオマス、地熱、水力など、環境に優しい再生可能エネルギーを活用したグリーン電力を幅広く供給するソリューションです。再生可能エネルギーを小売電気事業者や自治体、地域産業などへ提供。大規模電源から小規模電源まで対応し、安定供給をサポートします。地産地消電源となるグリーンエネルギーは、環境価値をより活用する手段として、地域の活性化や防災対応の向上、環境に優しい街づくりにも貢献します。

サステイナブル電源事業 Sustainable Power Supply



毎年のように繰り返される台風や地震などの災害に備えるため、停電時の非常用電力の必要性は高まっています。災害状況に応じた最適な電力を供給するのが、サステイナブル電源事業です。太陽光発電設備やEV、蓄電池などの分散型エネルギーを組み合わせることで活用・供給することにより、電力会社の送配電設備が損傷した場合でも停電を回避。オフィスビルや病院、公共施設など、多くの拠点のコミュニティ化を図り、地域の防災対応に貢献します。

高度EVステーション事業 Advanced Electric Vehicle Station



CO₂や排気ガスを出さないエコカーとして注目されるEV（電気自動車）。充電器と組み合わせた高度EVステーションは、EVの価値を高め、いっそうの普及拡大に寄与します。停電している重要拠点にEVで駆け付け、EVに搭載されている蓄電池から建物に直接給電することで、災害時のエネルギー利用を可能にします。さらに、将来的にはEVのデータ、施設のエネルギー利用状況のデータ、発電のデータなどを集約し、運輸やメディア、金融などさまざまな分野に生かすデータ活用事業の創出も射程に収めています。

VPP(仮想発電所)事業 Virtual Power Plant



必要な電力を必要とする場所へ、いち早く効率的に——普及が進む再生可能エネルギーは、その供給量が自然環境に左右されるため、需給の調整が困難となります。この課題を解決する方法として有力なのが、VPP（バーチャルパワープラント）です。VPPとは、発電設備や蓄電池、さらに電力を必要とする設備をコントロールし、あたかも一つの発電所として機能させるエネルギー供給システム。NTTアノードエナジーは、このVPPの構築に取り組むことで、既存のエネルギー供給とは異なる新たなエネルギー供給の仕組みをつくっていきます。また、再生エネルギーの余剰電力が発生する場合は蓄電池に蓄積、再生エネルギーの供給不足時は蓄電池から放電することにより、電力コストの低減も実現します。

ESG経営への取り組みとSDGsの達成への貢献

NTTグループでは、ESG経営を推進するうえで、環境負荷の低減を重要課題の1つと認識し、社会のCO₂排出量の削減貢献、電力効率の向上、eモビリティの推進、スマートエネルギー事業の推進に取り組んでいます。これらの活動を通じて、SDGs^{*1}の達成に貢献し、持続可能な社会づくりと企業価値の向上に努めます。

ESG経営の推進



SDGsの達成に向けて

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

※1 SDGsとは、2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」のことで、社会が抱える問題を解決し、2030年に世界全体が明るい未来を創るための17のゴールと169のターゲットで構成されています。

国際イニシアティブ「EP100」、「EV100」への加盟

NTTグループは、地球環境負荷低減/SDGs達成への貢献およびエネルギーコストの抜本削減をめざし、2018年10月29日にEP100^{*2}、EV100^{*3}に加盟しました。

ICT分野では、その発展に伴い、大容量の情報処理や大規模サーバの冷房などによる電力使用量が増加しており、**エネルギーの効率化は一層重要な課題**となっています。この課題の解決に向けて、高効率直流電力設備の導入促進及び通信設備の省エネルギー化に取り組み、**2025年に2017年度比で「通信事業のエネルギー効率2倍」**をめざします。

さらに、環境負荷低減と車両保有コスト低減に向けて、NTTグループが保有している一般車両約1.1万台について、**2025年までに「50%EV化」、2030年までに「100%EV化」**をめざします。

**CLIMATE GROUP
EP100**

**CLIMATE GROUP
EV100**

※2 EP100:事業のエネルギー効率を倍増させること(省エネ効率を50%改善等)を目標に掲げる企業が参加する国際イニシアティブ

※3 EV100:企業による電気自動車の使用や環境整備促進をめざす国際イニシアティブ

脱炭素社会に向けた世界の潮流

世界中の人々の暮らしに影響を及ぼす大規模な気候変動を抑制するため、各国は脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいます。温室効果ガスの排出量削減を求める国際的枠組みであるパリ協定が2015年に採択されたほか、グローバル企業の気候変動対策に関する情報開示・評価の国際的なイニシアティブもさまざま提唱されています。さらに、機関投資家を中心に、企業のサステナビリティを評価する観点から、ESGに配慮している企業に投資するESG投資の動きも高まっています。

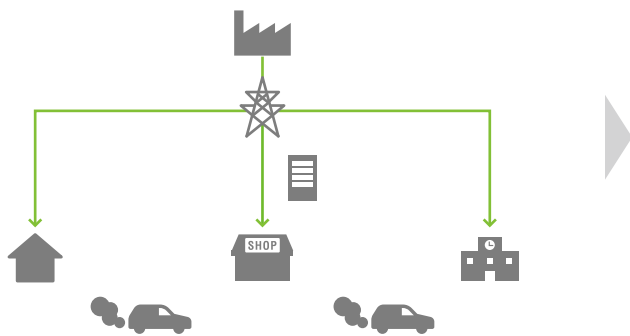
これからの企業には、環境問題に真摯に向き合い、その取組みを企業価値の向上につなげていく経営が求められているのです。

企業のESG経営を支えるNTTアノードエナジーのサービス

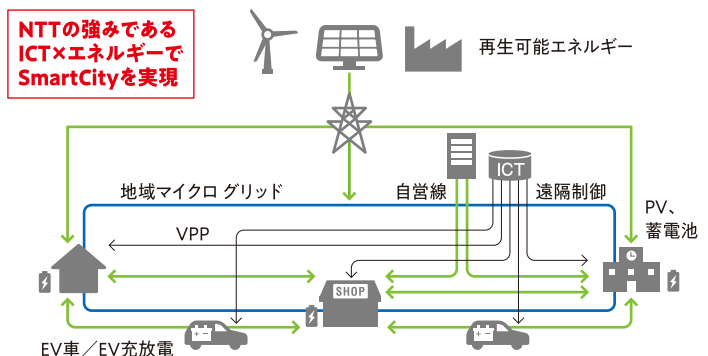
環境問題に対する意識の高まりに伴い、エネルギーのあり方も変わってきています。

これまでは、化石燃料を使って大規模な発電所で集中的に発電し、系統を通じて電力を供給するスタイルが中心でした。しかし、地球環境に配慮したエネルギーが求められるこれからの時代は、再生可能エネルギーの活用や、より効率的なエネルギー利用を可能とする自律分散型発電、エネルギーの相互融通が重要となってきます。

化石利用・大規模集中・系統中心



再エネ・自律分散・相互融通



企業の脱炭素経営において、クリーンな電力である再生可能エネルギーの導入は、企業評価や競争力に直結した経営課題に位置付けられ、今後も益々ニーズが高まっていくことが予想されています。

NTTアノードエナジーは、発電設備を設置・運用して再生可能エネルギーを提供するとともに、お客様のご要望に応じて再生可能エネルギーの増加に直接的に寄与する(“追加性”を持つ)グリーン電力をご提案することで、お客様の持続可能な事業活動を通じた企業価値向上に貢献します。

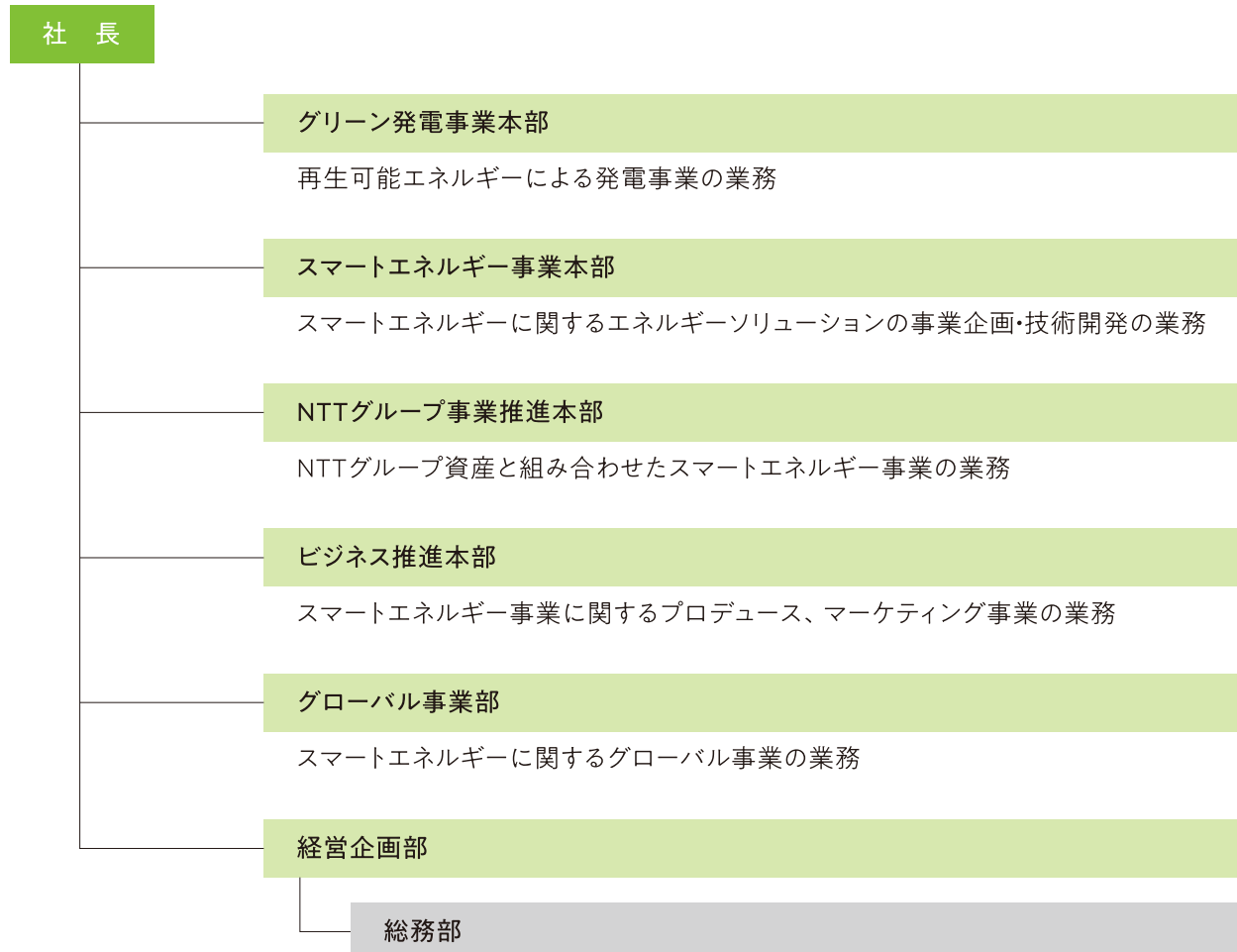
また、地球の気候変動により世界各地で大規模な自然災害が頻発しており、エネルギーのレジリエンス対策も分散化や多様化が求められています。自律分散型発電やエネルギーの相互融通は、非常時だけでなく、平常時のエネルギーの効率利用にも寄与します。

NTTアノードエナジーは、自営線敷設による直流給電と蓄電池やEVなどの活用による地域のレジリエンス強化、ICT等を組み合わせたスマートエネルギーの新たな事業展開を行い、地域活性化や産業創出に貢献します。

会社概要

会社名	NTTアノードエナジー株式会社 (英文名:NTT Anode Energy Corporation)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー発電事業 ・スマートエネルギー事業
所在地	東京都千代田区大手町1丁目5番1号 大手町ファーストスクエア
代表取締役社長	高間 徹
株主構成	日本電信電話株式会社 100%
主要なグループ会社	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社エネット ・株式会社NTTスマイルエナジー
資本金	79.2億円
設立年月日	2019年6月3日

組織図



NTTアノードエナジーは、グループ会社である「エネット」及び「NTTスマイルエナジー」と連携し、事業を展開しています。エネットは、日本全国の様々な業種のお客様に電気をお届けするとともに、ICTの活用によって、環境にやさしく経済性に優れた付加価値サービスを提供。またNTTスマイルエナジーは、太陽光発電の遠隔監視サービスをベースに、発電・VPP事業など『情報×エネルギー』サービスを提供しています。これら2社とのグループシナジーを発揮し、NTTアノードエナジーはさらなる発展をめざしてまいります。

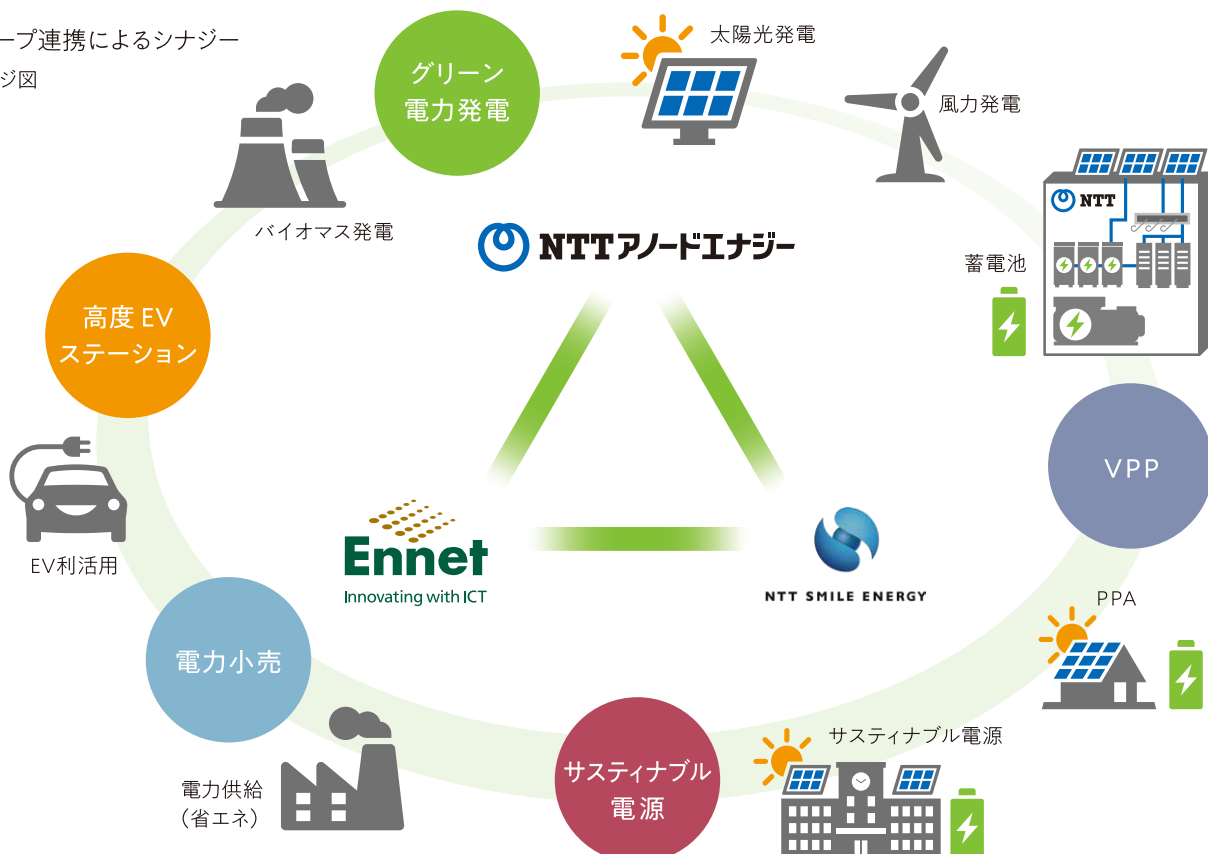
●エネット 会社概要

社名	株式会社エネット
所在地	東京都港区芝公園二丁目6番3号 芝公園フロントタワー
資本金	107億円
株主構成	<ul style="list-style-type: none"> ・NTTアノードエナジー株式会社 (51%) ・東京ガス株式会社 (24.5%) ・大阪ガス株式会社 (24.5%)
URL	https://www.ennet.co.jp

●NTTスマイルエナジー 会社概要

社名	株式会社NTTスマイルエナジー
所在地	大阪府大阪市中央区北浜2丁目6番18号 淀屋橋スクエア4階
資本金	1億円
株主構成	<ul style="list-style-type: none"> ・NTTアノードエナジー株式会社 (51%) ・オムロンソーシアルソリューションズ株式会社 (34%) ・西日本電信電話株式会社 (15%)
URL	https://nttse.com

●グループ連携によるシナジーイメージ図



Brighten the earth

NTTアノードエナジー株式会社

東京都千代田区大手町1丁目5番1号 大手町ファーストスクエア

NTT Anode Energy Corporation

Otemachi 1st Square, 1-5-1 Otemachi, Chiyoda-ku, Tokyo

www.ntt-ae.co.jp